

6月議会定例会

# 旧清掃センター解体へ

## 一般会計補正予算

### 総額1億3,146万9,000円を増額

おります。5月下旬以降は、気温も安定しておりますので、今後は適切な水管理による茎数の確保が図れるよう、山本地域振興局農業振興普及課、JA営農センターと連携しながら、稲作の情報提供に努めてまいります。

今年の米の生産数量配分は、町内外の農地の出入作による市町村間調整の結果、仮配分時より83t少ない2,343t、作付面積では、15.1ha減少して、426.0haの配分となりました。加工米を含む作付面積は、446.3ha、出荷米については、60kg換算で38,554.5俵となりました。

矢坂地区土地改良事業につきましては、その調査計画費が県の当初予算に盛り込まれたことから、今般、地元負担分、2百万円を補正予算に計上しておりますので、よろしくお願いいたします。

町が出資していた「有限会社白神農園ふじさと」の清算手続きについては、法務局、税務署等のご指導を仰ぎながら、5月26日までに完了しておりますので、報告事項をご覧いただきたく思います。

林業関係では、昨年度より実施しております「木の駅事業」でありませんが、3月末に関係者と打ち合わせを行い、今年度は、4月より木の受け入れを開始し

ております。出荷登録者は、昨年の9名から12名と増えてきておりますので、今後も事業の周知に努め、事業の更なる普及拡大に努めてまいります。

#### ◇『かもや堂』の利用状況

去る3月19日、あいにくの雨でしたが、まちづくりの拠点として、集いの場・チャレンジの場として、かもや堂の所有者の加茂谷さんをはじめ、コンペティション最優秀者の設計士の方、そして関係者の皆さん、また、多くの町民の方とともに、盛大にリノベーションオープンを祝うことができました。オープニングイベントは、今後のかもや堂の使い方の提案として、催しを3日間にわたり行い、来場者は3日間でおおよそ600人の方々が、足を運んでいただけたと伺っております。

オープンして約2ヶ月半が経過しましたが、その利用状況について報告いたします。かもや堂は、現在、お試し開放中であり、平日午前10時から午後5時までの開館で、1階コミュニティスペースは予約なく利用できる開放スペースとなっております。また、2階和室の利用と開館時間以外については、事前予約により利用が可能となっております。現在、地域おこし協

力隊員の協力を得ながら運営しているところであります。

先月末までの利用状況は、1階開放スペースで、4月・5月で約540人。一般利用では、各種団体等の会議、お仲間の親睦会など22回、約270人となっております。6月以降も、会議や同窓会などの利用で予約が入っております。また、チャレンジ利用では、お試しかフェの開催として5月に2日間利用いただいております。2日間の来客数はおおよそ110人で、町外のお客さんも見えたようです。今月も、クラフト手芸講習会の開催で利用されており、少しずつですが、町民の方々のチャレンジの場にご利用されてきました。

今後は、かもや堂の運営者の募集も視野に入れて検討してまいります。町民のみならず集い、語らえる、気軽に集まれるまちづくりの拠点として、多くの町民に親しまれ、活用される場を目指してまいります。

#### ◇地域おこし協力隊

町では、一昨年、平成26年度から総務省の事業を活用して地域おこし協力隊を委嘱し、町の活性化を進めております。

昨年度、情報発信活動と地域活動の支援のために2名を委嘱してりましたが、中通地区に

配属の1名が自己都合により、3月末で退任となりました。もう1名の隊員は、任期を更新し、4月1日で委嘱状を交付しております。

また、5月1日付けで、新たに東京都出身の女性1名を委嘱しております。雑誌づくりの編集長のほか、ウェブデザイン、チラシ・パッケージのデザイン活動に取り組んでいただきたいと思います。

なお、一昨年に隊員が退任になった北部地区、3月末で退任になった中通地区の配属隊員2名について、全国公募を行いましたところ、3名の申し込みがありました。現在、選考中であり、募集の2名には、調理ができる設備を搭載した軽ワゴン車「フードカー」の運営を通じて地域課題の把握と解決、また、地域グループの事務局活動などに取り組んでいただく予定であります。いずれも、地域おこし協力隊の若い力を活かして、新しい風を吹き込んでくれるよう期待しているところでございます。

#### ◇栗の木岱土地貸付け

去る4月25日付けで、栗の木岱の原野、約4haを、社会福祉協議会に有償で貸し付けし、事業を実施していることを報告い